

令和2年度 兵庫県立西宮甲山高等学校 特色選抜 小論文(作文) 課題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

【課題文】

翔太とさくらは甲高(西宮甲山高校)教育総合類型の2年生。今度、「教育基礎」の授業で、クラス全員で近くの保育園に、実習に行くことになっています。今日は、教室で、班に分かれて準備に取りかかっています。遊びなどの活動内容も、自分たちで企画します。以下は、翔太とさくらの会話です。

さくら：「この実習が終わったらいよいよ私たちも3年生ね。今までたくさん実習の機会はあったけれど、一番いいものにしたいわね。」

翔太：「そうだね。初めて子どもに『せんせい』って呼んでもらえたときは、うれしかったなあ。」

さくら：「わかるわかる。全然一人前じゃないんだけど、頼りにされている気がして、背筋が伸びたわ。」

翔太：「初めて畑で子どもとじゃがいも掘りをしたときは、どんな話をしたらいいのかわからなくて、不安だった。でも、いざお迎えに行ったら子どもと手をつないで歩いていたら、自然と話がはずんでほっとしたな。」

さくら：「翔太さんと①組になった子は、おしゃべりが好きだったのね。私の組の子は、いろんなことに興味がある子だったわ。少し目を離した間に、翔太くんたちのところに行っていたときは、『何かあったらどうしよう』と思ってひやっとしたわ。ケガをしなくてほっとしたけど、ちゃんと見ておかないとね。それ以来、子どもたちと活動するときは、自分がこの子を守るんだっていう気持ちでいるの。」

翔太：「たしか、じゃがいも掘りが終わって、保育園まで一緒に歩いてるときだね。道ぞいの用水路に②カメを見つけて、みんな大喜びだったんだよ。つられてこっちに来たんだね。楽しいこともいっぱいあるけど、特に外遊びや自然体験活動のときは、子どもの安全に気をつける必要があるね。」

さくら：「そうね。保育園の先生の1人が、甲高の卒業生だったでしょ。私、その先生の姿を見て、あこがれたし、私も甲高を卒業して、大学に行ったあと、あんな風にキラキラ輝いて子どもたちとかかわりたいとも思った。でも、その先輩も、最初からうまくできていたわけじゃないのよね、きっと。」

翔太：「たくさんの経験を重ねた先輩から学ぶことって、たくさんあるよね。僕は、さくらさんが、いろんな活動に取り組む様子を見て、負けるもんかという気持ちで頑張っているんだ。」

さくら：「先輩だったらどうするかなって、困ったときは考えるようにしているの。夏の保育園インターンシップ*1のときは、自分なりに経験をいかせたかな。」

翔太：「思い返せば、子どもたちといろんな遊びをしたよね。③歌遊びや④ごっこ遊び、かくれんぼもしたね。僕が最初に鬼だったんだけど、しばらくずっと鬼。」

さくら：「翔太くんは体が大きいもんね。子どもたちは遊びにも一生懸命だよ。だから、こっちも本気になって遊んだわ。もう家に帰るとへとへとだった。」

翔太：「そう考えると、毎日かかわっている保育園の先生たちってすごいね。」

さくら：「さあ、私たちも一歩でも近づくために頑張るわよ。まずは、今度の実習だよ。私たちの班、⑤絵本の読み聞かせはどうする？班の他のメンバーは遊びのプランを立ててくれているから、2人で考えようと思って家にあったものをいくつか持ってきたの。あと、図書館で借りてきたものも。」

翔太：「わあ、すごい。ありがとう。僕も家で探したけど、子どもの頃の本がなくて困っていたんだ。本棚にあったのは、買ってもらった伝記や図鑑、⑥英語の本ばかりだったよ。」

さくら：「ふふふ。勉強熱心な子どもだったのね。」

翔太：「やめてくれよ。でも、これだけあると選ぶのが難しいな。」

さくら：「そうよね。難しいわよね。確か、1学期の『教育基礎』で絵本についての授業があったから、参考にしましょう。」

翔太：「それがいいね。何ておっしゃっていたかなあ。えーっと…。」

さくら：「あ、翔太くんも『教育総合類型ノート』を見て振り返っているのね。私も、困ったときはそれを見て思い出したり、前向きな気持ちになったりしているよ。書いてある？大学の先生の授業だったと思うけど…。」

翔太：「あったあった、このページだ。『赤ちゃんの頃は、音やリズムを楽しめる本』とか、『3歳ぐらいからは、物語がイメージしやすい本』とか。」

さくら：「子どもの興味や発達段階に応じて選ぶことが大切ってことね。年齢に合わせていくつか選びましょう。どんなことに興味をもってくれるかしら？」

翔太：「それはあとで先生に相談だね。早く子どもたちに会って、楽しんでもらいたいな。」

さくら：「うん、実習を絶対に成功させようね。」

このようにして、2人は「教育総合類型ノート」を振り返りながら、絵本選びを始めました。今まで気づいたことやうれしかったこと、くやしかった気持ち、これからの決意などがつまっています。授業でつくった折り紙や、使った植物もはさまっています。これが、今まで頑張ってきた証拠です。今度は⑦自分たちが夢をかなえる番です。教室には、明日を照らすように暖かい日だまりができています。

* 1 インターンシップ：職業体験

I 下線部①について、園児 40 人と高校生 30 人、計 70 人全員が、次のように 2 人組と 3 人組に分かれるとき、3 人組はいくつできるか求めなさい。

2 人組 (園児 1 人と高校生 1 人)

3 人組 (園児 2 人と高校生 1 人)

II 下線部②について、次の問いに答えなさい。

1 カメの中には、ミシシippia カミミガメのように、人間が外国などから持ち込んだものが、逃げたり捨てられたりして野生化し、繁殖している場合がある。このように、もともとはその地域にいなかったのに、人間の活動によってほかの地域から入ってきて定着した生物のことを何というか漢字で書きなさい。

2 人間の活動によって引き起こされる環境問題について、オゾン層の破壊を引き起こす物質として最も適切なものを、次のア～オから 1 つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 二酸化炭素 イ 窒素酸化物 ウ アンモニア エ フロンガス オ 水素

III 下線部③について、次の問いに答えなさい。

翔太とさくらは、子どもたちと一緒に「ひらいたひらいた」の歌遊びをしました。

「ひらいたひらいた」の歌い出しの楽譜として適切なものを、次のア～エから 1 つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 

イ 

ウ 

エ 

IV 下線部④について、次の問いに答えなさい。

次の選択肢ア～エは、ごっこ遊びなどの幼児の遊びについての説明です。適切でないものを次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 幼児にとって遊びは生活の中心である。

イ 遊びの中で、思うようにならないことも起こるが、そのような体験を通して社会性が発達する。

ウ 子どもたちが安心して遊べるように、環境を整えるのはおとなの役割である。

エ 子どもが安全に遊べる場所や時間を確保し、必ず同年齢だけで交流を体験できるようにする。

V 下線部⑤について、子どもに絵本の読み聞かせをするための本を選ぶとき、気をつけることは何ですか。

《絵本選びのまとめ》の空欄に入る適切な語句を文中から15文字で抜き出して書きなさい。

《絵本選びのまとめ》

絵本選びで気をつけることは、(15文字) 選ぶこと。
--

VI 下線部⑥について、「私は英語の本を読んだことがある。」という意味になるように、() にそれぞれ適切な英語を1語を入れて、英文を完成させなさい。

I () () an English book.

VII 下線部⑦について、あなたが夢とする職業は何ですか。その職業に必要な力と、それが必要である理由を、本校で頑張りたい教育総合類型の取り組みとともに書きなさい。

ただし、360字以上400字以内とし、句読点も1字に数え、改行せずに詰めて書きなさい。